

こどもエコクラブによる学校ビオトープの
保全活動に関する研究
一地域に開かれた学校ビオトープを目指して一
都島こどもエコクラブ 田 明男

1 はじめに

近年、全国的に校庭にビオトープを設ける学校が増えつつある。本こどもエコクラブの会員が通う小学校でも、平成5年度から教職員と子どもたちによって、ビオトープ作りが進められてきた。都会にあるため、校舎と塀の間の僅かなスペースを活用したものではあるが、野草園をはじめとして、アゲハチョウやカブトムシの観察施設、各種の樹木の生い茂る小さな森、小枝や落ち葉が敷き詰められた通路、校内の給食の残葉を使った堆肥置場、雨水を活用したトンボ池等幾つかの水辺の空間等、環境学習を行うには十分な内容である。

これらの施設の保全については、これまでに、全校生のビオトープへの関わりを深めるため、理科や生活科等の学習としての教材化が図られた。しかしながら、取り組みを進めていく上で次のことが、明らかになった。即ち、保全活動を進めるには、①ビオトープ内の生態系について十分な理解が必要であり、そのための調査が欠かせない。②生態系を考慮した日常的な保全作業を、学校側だけで行うのは、様々な点で困難である。③ビオトープが都会において、「自然豊かな空間」として地域に開放されるには、地域社会による理解や支援が必要である。

そこで、本研究では、地域のこどもエコクラブの学校ビオトープの保全活動への参加により、その実践的な取り組みを通して、上記の課題解決の方策を探るものである。

2 活動内容

グループの概要として、1998年1月より当小学校のビオトープ内の定期的な植物調査を開始。子どもたちの自然環境保全の意識を育てることを目的に、教師と保護者及び、地域住民がサポーターとして1999年度に創設された。学校を主なフィールドとして、ビオトープの保全作業や自然観察会

を中心に活動を進めてきた。2001年度の登録会員数は39名、サポーターは、保護者を中心として10名である。

2001年度の主な活動内容

月 日	内 容
5月27日(日)	小学校内の樹木の剪定①
7月7日(土) 7月8日(日)	大東市立青少年野外活動センターでのキャンプと自然観察会
7月14日(土)	昆虫の標本づくり
8月11日(土)	押し草花づくり
9月8日(土)	小学校内のミニミニ池づくり③
9月22日(土)	小学校内の樹木の剪定③
11月4日(日)	能勢の里山での保全学習
11月24日(土)	蔓を使ったリースづくり
12月8日(土)	落ち葉を使った葉書づくり
12月22日(土)	小学校内の樹木の施肥
1月12日(土)	淀川・鶴殿での葦刈
2月9日(土)	葦を使った立体瓶づくり
2月23日(土)	ペットボトルで堆肥づくり
3月9日(土)	人形劇「いのちの森」の鑑賞会
3月17日(日)	淀川での野鳥の観察会

2001年度は、毎月第2・4土曜日を中心に活動を行った。表のように、子どもたちの自然への興味や関心を高めるため、学校内だけでなく、地域での野外体験や自然の素材を使った学習を行った。環境保全に取り組む様々な人々を講師に迎えた。また、子どもたちの野外での安全確保のため、多くの保護者による活動への協力を得られた。

3 今後の課題と展望

2002年度の完全週休2日制をむかえ、本こどもエコクラブは、毎週土曜日の活動実施を進めている。その活動内容の検討等が課題であるが、生涯学習ルームへの登録が決まり、地域の組織としてさらに、環境保全の大切さを発信し続けていきたい。